



でんえい会誌 第20号

名古屋工業大学電気系同窓会誌

<http://www.denei.jp/>



＜工科系単科大学図書館の選択と集中＞

情報工学教育類 松尾 啓志 (J58)

(名古屋工業大学大学院教授 附属図書館長兼任)

大学図書館には様々な変化の波が押し寄せています。まずは情報化の波です。元来、紙媒体を扱うことが主体であった図書館が、論文はほぼ電子ジャーナルに移行しました。さらに今後数年の間には、書籍さえも電子書籍への移行が急激に進むとの予測もあり、電子化への対応が待たなしの状態にあります。次に、法人化後の予算減の波です。ご存じの通り、国立大学は法人化されたとはいえ、かなりの部分の予算が国庫からの運営費交付金で賄われております。それが毎年1%ずつ削減されており、さらには人件費も同様に削減されています。つまり、図書館を運営する予算や人的資源も同程度の削減の対象となっています。

一方、大学図書館に与えられた役割としては、(a) 自学自習を行うための場と情報(教科書・参考書)の提供、(b) 教員・研究室学生への研究資料の収集・提供、(c) 歴史的価値のある資料などの収集、整理、保管、提供など主に大学図書館司書が行う作業、(d) 学生相互の学びを促進する場の提供。つまりラーニングコモンズやアクティブラーニングが挙げられます。

従来、約80の国立大学図書館が同様にこれら全ての役割を提供していましたが、予算削減の折から、図書館長就任後、工科系図書館における選択と集中をテーマに掲げ、様々な改革をスタートさせました。まずは、役割の順位付けです。研究のために欠かせない電子ジャーナルの充実を最重点項目に設定し、旧帝大には叶わないまでも、工科系単科大学の中ではかなり充実した種類のジャーナルを購読できるように整備しました。さらには、従来は学内ネットワークからしかアクセスできなかった電子ジャーナルを、自宅や出張先からでもアクセス可能なシステムも導入しました。

次に学生への場の提供の充実です。情報基盤センターのシステムリプレイスに伴い、図書館内に大きなディスプレイと広い学習空間を提供できる机からなる教育用PC端末利用環境を25台(他に一般端末8台とWi-Fi環境)図書館内に配置しました。広い機の設置により、複数の学生が集まって同時にディスカッションが可能なラーニングコモンズを非常に小規模ながら実現しました。

つまり、名工大図書館における選択と集中とは、電子化に向けた積極対応です。これ以外にも図書館内の全蔵書にICタグを付け、貸し出し処理を電子化しました。さらにICタグの機能を用い、館内閲覧を含め蔵書の利用状況の調査を行いました。その結果を用いた開架図書 of 効率的選択も視野に入れています。米国の大学図書館では、全蔵書の13%の利用度が80%という調査があり、効率的な開架図書の選択は、スペースの有効的な活用だけでなく、利用者への積極的な情報提供とも考えることができます。

さらに、今後10年間に予想される本の電子化に向けても、工科系単科大学の図書館として先頭を切って導入を図るために、調査・研究を行う必要があります。すでにスタンフォード大学工学部図書館では、基本書、参考書を除いて、すべて紙の本を撤去し、電子書籍利用端末スペースと、ラーニングコモンズスペースへと変更されました。日本では、複雑な著作権の問題もあり、すぐには米国のような変化は訪れるとは考えにくいですが、書庫のスペースや本の整理のための人件費の削減から考えても、近い将来必ず訪れることは明らかであり、その準備を怠らず進めていきます。

なお、卒業生の皆様におかれましては、図書館の利用時にFeliCa(manacaなどの交通系カード)ICカードを図書館利用カードとして利用可能なサービスも始めました。積極的な利用をお願いします。

＜技術系社員の会計思考の必要性＞

平成 20 年電気電子工学科卒 川合 宏海(EH20)

(公認会計士)

会計士として企業の状況を分析するなかで、企業の役員や従業員へインタビューを実施する機会が多くあります。本来の目的は内部管理体制の調査ですが、企業や企業をとりまく環境に関する認識についても、現場の空気感を吸収できるよう心がけています。このたび筆をとらせていただいたのは、業務を通じて接する技術系社員の方々の財務会計関連の知識の乏しさに危機感を感じたことに起因します。

東海圏を中心に仕事をしている関係上、製造業企業を相手にすることが多くなり、技術系の方々との接点も多くなります。私自身電気電子工学科出身であり、東海圏のモノづくり技術の素晴らしさについて多少は理解しているつもりです。働いている方々も技術に関しては誇りと実績に裏付けされた自信を持っておられることは、ひしひしと伝わってきます。

しかし、いわゆる技術系社員の方々の中には、自社の財務状況に疎い方があまりに多いと感じています。自社の売上高を知らない、利益率を知らない、中には自社が黒字か赤字かさえも知らない方もいます。これには非常に危機感を感じます。営利企業は利益を出さないと存続することができません。そして利益はコストと売上高を管理しなければ計上することができません。いかに素晴らしい製品を開発したとしても、赤字続きではいつか破綻してしまいます。

東証株価指数(TOPIX)がリーマンショック時にほぼ半分になって以降回復する兆しはありません。日本の製造業は全体として財務会計面に関しては落ち込んでいると言わざるを得ません。そんなとき、自身の業務がどう利益に影響するか理解している社員、つまり会計思考ができる社員が増えれば企業は筋肉質になることができます。もちろん、それぞれの専門分野に邁進することが一番の貢献です。しかしながらあらゆる従業員の、いかなる行動も最終的には利益や損失に影響する現実があります。日々の業務の中でほんの少しずつ意識するだけで大きな変化を生むことができ

ます。特に発生するコストが大きい研究開発分野、生産管理分野に従事されている方々は会計思考により大きな利益を企業にもたらすことができます。実際に組織風土として会計思考の意識づけに成功している企業は、財務面で強固であるという印象を持っています。

さらに会計思考はキャリアを重ねる上で大きな働きをすると考えられます。ポジティブな意味では、経営者がこれからの技術者に求める人材にマッチするということです。ネガティブな意味では、企業をとりまく環境の悪化をいち早く察知できるということです。

専門分野のみに特化していれば安泰であった時代は過去のものになりつつあります。もちろんどんな職種にも言えることで、会計士としても会計以外の分野、例えば経営や法律等の知識をもとに差別化を図らねば生き残れない時代になっています。

理系出身者は数字に免疫があるという強みを持っています。まず手始めに、自社の決算書と自身の業務フローを見比べ、ご自身の企業内での業務がどのように集計され、決算数字に反映されているのか確認してみてはいかがでしょうか。

＜双方向音声案内デジタルサイネージシステム「メイちゃん」＞

情報工学教育類 徳田 恵一(Es59)

双方向音声案内デジタルサイネージ（以下、「メイちゃん」）をキャンパス内の正門入口付近に設置し、2年近く運用してきました。本稿では、設置の経緯等、簡単に紹介させていただきたいと思います。

著者を中心とする研究グループは、音声認識、音声合成等を中心とした音声技術について研究を行っています。これまでの研究成果を統合したオープンソースの研究基盤ソフトウェアが「音声インタラクションシステム構築ツールキット MMDAgent」です。音声技術の専門家だけではなく、一般の人々により広く音声技術の楽しさを知っていただくということで、2010年10月5日（火）から10月9日（土）に幕張メッセにて開催された CEATEC JAPAN 2010 に MMDAgent を

出展しました。展示は、大型デジタルサイネージ上に現れる等身大のキャラクター「メイちゃん」による音声対話デモンストレーションです。ちなみに CEATEC JAPAN は世界最大級（アジア最大）の最先端 IT・エレクトロニクス展であり、2010 年には 18 万人以上の来場者があったとのことでした。

幸い展示は期待以上の評判を呼び、テレビ朝日「スーパーモーニング」、フジテレビ「とくダネ！」他で紹介していただくことができました。これらの報道により「メイちゃん」は大学事務局を中心とした関係者の知るところとなり、「メイちゃん」プロジェクトが開始されるきっかけとなりました。

「メイちゃん」は、キャンパスの情報基盤システムに接続されています。ネットワーク接続構成の設計、コンテンツ登録のためのウェブインタフェース構築等は本学情報基盤センターに担当していただきました。また、設置に際しては、事務局の関係各署にお世話なただけでなく、運用に際しては、企画広報他の事務方に強力にサポートして頂いています。以上のような経緯から、期せずして「雪だるま式」に学内の組織横断的なプロジェクトとして展開することとなった次第です。

「メイちゃん」は、キャンパスの建物案内、近隣の地理案内、学科・専攻等の大学案内、教員案内、天気予報、時刻や日時の確認、占い、大学に関連した様々なイベント情報の案内等を音声により行うことができます。また、雑談的な問いかけにもある程度答えることができます。これらの中でも、イベント情報に関しては、教職員・学生がウェブインタフェースを通して、メイちゃんが案内する内容を自由に登録できるユーザー参加型のシステムとなっているのが大きな特徴です。

キャンパス内での運用を通して、大学の顔としての認知が進んでおり、各種パンフレット、広報誌等で利用されています。小学生・中学生の総合学習・見学、学会等での見学会、オープンキャンパスなどでも人気で、入学試験日に受験生による人だかりができる、休日には記念撮影に訪れる親子連れがいるなど、性別・

年齢を問わず好感度が大変高く、テレビ、新聞等による報道が多数あったことから、学内だけでなく学外でも同様の好感度をもたらしていると思われます。

メイちゃん公式ウェブページでは、「メイちゃん」に関連した情報を発信していますので、ご覧いただければと思います (<http://mei.web.nitech.ac.jp/>)。また、名工大にお越しの際は、是非、メイちゃんに声をおかけ下さい。



名工大の新しい顔「メイちゃん」



＜就職状況について＞

電気電子工学教育類 就職担当 桜井 優

平成 25 年 3 月卒業予定の電気電子工学関連の研究室の学生の就職担当務めさせていただきました。対象学生数は大学院生 107 名、一部学部生 140 名、二部学部生 8 名であり、最終的な就職率は、大学院生 99%、一部学生 97%、二部学生 100%という非常に良好な結果でした。

今年の特徴としては、従来の主流であった大手の電機メーカ（特に家電メーカ）が減り、自動車関連、機械、金属、化学系の会社からの求人が多かったことでした。世の中の流れとして、家電関連企業と半導体企業の不況が反映されたものと思われます。

しかしながら、電機メーカ以外からのエレクトロニクス技術者への要請は非常に多く、多数の企業からの熱心な訪問を受けました。これは、世の中の機

器や設備がエレクトロニクス化の方向に進んでいるためであり、例えば、車は50%が電子機器であり、航空機に至っては75%が電子機器となっていると言われております。(それが最新鋭のボーイング787の不良原因になっているゆえんでもありますが。)また、生産過程における電子化の進行からも、生産工場関係からのエレクトロニクス技術者のニーズも非常に高いものがありました。

このような世の中のエレクトロニクス技術者への高いニーズに対して、その状況が受験生にはあまり伝わっていないためか、近年、電気電子工学科への入学希望率が低下しつつあることは、誠に残念なことで感じております。世の中のニーズに合った人材を供給することが、大学の使命のひとつと考えるならば、高校生へ現状を伝える啓蒙活動も、もっと必要なのではないかと感ずる次第です。

あと、これは、日本全体の問題かとは思いますが、企業の横並びの集中的な採用方針のため、学生の就職活動が一時期に集中し、その結果、3年生後期の授業と、修士1年生前半の研究活動が著しく阻害されることがあげられます。これは、大学にとっても、学生にとっても好ましいことではなく、改善されることを強く望みたいことであります。

いずれにしても、中京地区は優良で活力ある企業が多く、学生が皆無事就職することができる状況は、大変ありがたく感謝する次第です。

情報工学教育類 就職担当 石橋 豊

平成24年度は、情報系の大学院修士学生90名、第一部学部学生152名、第二部学部学生4名の計246名を担当しました。例年と比べて、大学院修士学生の数が少なくなっています(大学院入試が厳しかったということです)。これに対して、求人会社数は384社(昨年より11社増)、訪問会社数は118社でした。そして、2月末までに合計で112名の内定が確定し、118名が進学しました(第一部学部学生の進学率は約75%)。この他、来年度の大学院入学を目指す学生や卒業後に帰国する留学生もいました。

ちょうど10年前にも就職担当を務めましたので、そのときとの違いを述べさせていただきます。当時も就職状況は悪いと言われていましたが、今回は学生が可愛そうに思えるくらい、状況は大きく変わっていました。まず、推薦による内定率が大きく下がり、推薦で就職を決める学生の割合が5割弱程度まで下がりました。また、推薦のために学生との面談に割く時間が大幅に増えました。次に、学生の就職活動におけるOBの方々の役割がかなり大きくなりました。具体的には、OB訪問による会社説明会を数多く開催して頂きました。学生にとっては、研究室の先輩のOBが対応してもらえますので、気軽に参加して会社を知ることができる良い機会となっていると思います。また、リクルータと呼ばれるOBの方々の存在が大きいと感じられました。この方々は、会社の説明だけでなく、面接の仕方まで踏み込んでご指導頂けるケースも多くありました。

昨年度からの違いとして、本年度より経団連の申し合わせにより就職活動は12月から開始となりました。当初は、企業研究の時間が十分に取れないなどの心配の声もありましたが、特に大きな混乱もなかったと思います。

最後に、ご支援を頂きましたOBの方々に始めとするお世話になった皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

<ご退任される先生から>

情報工学教育類 准教授 菅原 真司 名古屋での8年間への御礼

2005年の4月に電気通信大学から本学大学院情報工学専攻の助教授に着任して8年が過ぎました。8年というのは長いようですが、思い返すとあっという間だったように思います。この度縁あって千葉工業大学工学部電気電子情報工学科に転出することになりましたので、お世話になった皆さんに一言ご挨拶申し上げます。

げます。

8年間私は石橋豊先生と共同で研究室を運営することができ、大変幸運だったと思います。石橋先生には前職の助手とは大きく異なる仕事内容とそれに伴う責任を基本からしっかり教えて戴きました。また、石橋・菅原研究室の福嶋先生、原田さんには共同研究者として、あるいは研究活動のサポート役として多くの場面で助けて戴きました。この場をお借りして深くお礼申し上げます。

情報工学教育類、創成シミュレーション工学専攻、電気電子工学教育類の多くの先生方にも大変お世話になりました。学科や専攻の仕事を通じて、やはり多くのことを教えて戴いたと思います。名工大の電気情報系の教員は旧学科からの関係が深く、別の所属になっても懇親会や送別会などで頻繁に交流があり、仲が良いことは素晴らしいと思います。他の大学の教員の方と話をした際に、研究分野が多少離れていても同じ名工大の教員ならば互いに良く知っていることを度々羨ましがられました。

講義は「形式言語とオートマトン」、「データベース論」、「コンパイラ」（いずれも学部講義）などを担当しました。拙い講義を熱心に聞いてくれた学生の皆さんにも感謝したいと思います。特にデータベース論とコンパイラは長く担当しましたから、途中で教科書を変更したり、教える内容を変えてみたり試行錯誤が続きました。そのため、必ずしもベストの講義ではなかったでしょうが、時々「授業評価」で貴重な（時に辛辣な）意見を以て励ましてもらいました。でも、教員も人間ですから、できるだけ建設的で節度を持った意見をお願いしたいと思います。

最後に、私を大きく成長させてくれた名工大のすべての皆さんに感謝申し上げ、皆さんの今後のより一層のご発展を祈念して筆を置きます。これまで本当に有り難うございました。

＜新任教員あいさつ＞

電気電子工学教育類 教授 三好 実人

1年をふりかえって～感謝・感想・閑話～

はやいもので昨年4月に着任してから1年が経ちました。この間、教育類や専攻の諸先生方にはとても親切に接して頂き、且ついろいろとご配慮を頂きました。この場を借りて心より感謝申し上げます。約20年間、企業の研究開発に携わった後、現職に転身しましたが、私の人生の中でも特に時の経つ速さを実感した年となりました。そんな中、昨年夏休みぐらいからでしょうか、最初のうち違和感たっぷりだった「先生」という呼称にも徐々に慣れ、心に余裕を持てていると自覚できるようになってきました。現在は、今の立場の自分がやれる事、やるべき事をどうやって進めるのかに日々思いを馳せています。

さて、私は、転職直前まで半導体材料およびデバイスの研究開発に携わっておりましたが、現職においてもほぼ同じ分野で研究をさせて頂いております。当然、今までよりも「研究」の色合いが濃い仕事になりますが、思いのほか恵まれた環境で活動をスタートすることができております。有難いことです。もう一つ、「教育」に関してですが、私は、会社員時代には採用面接もやりましし、新卒社員を受け入れ指導する立場でもありました。つまり、「企業が求める人材」については熟知している筈です。これは経験が十分役立つだろうと思っていたのですが、ナマの学生たちと接しているうちに自信がゆらぎました。自分の経験や知っている事は確かにある筈なのに、それをどうやって伝えていこうか？ それに当たり前だが、自分の知っているのは企業という狭い世界だけではないか？ 結局、ある意味、研究と同じように、「答さがし」しなければいけなくなったようです。それで、これまでのモットー「失敗しても反省するが後悔はしない」を変えることにしました。学生相手に「失敗」はほとんど洒落にもならないと思いましたので。ただ、失敗を恐れず挑戦はしていきたい。そのために（ありきたりですが）「人生、何事も勉強。勉強するのに年齢制限はない」という気構えで研究・教育に邁進することに致します。今後ともよろしくお願い致します。

私の使命を模索して

はじめまして、宮川鈴衣奈(みやがわいいな)です。着任して早1年、時の流れる早さを実感しております。2012年3月に博士後期課程を修了し、ご縁を頂き4月から本学に助教として着任致しました。学生時代には、光る半導体を自分で作製することに興味を持ち、窒化物半導体の結晶成長に関する研究に取り組んでおりました。研究を進めていく中で、結晶成長の奥深さに魅了され、現在は江龍修教授の元、SiC基板の機能化に関する研究をスタートさせました。

着任当初は、「学生じゃないの?」と言われ、私自身も学生感覚が抜けきらずに切り替えに苦戦した反面、そう変わらない気でいた学生とはジェネレーションギャップを認識させられ、微妙なお年頃(?)真っ只中の女性として、自分の存在位置が曖昧でした。そんな中、この環境で私に出来ること、そして私の使命は何なのか、ということを考えるようになりました。私は学生時代、様々な学会や研究会に出る機会を頂き、多くの素敵な先生方や同じ世代の研究者に出会うことができました。この出会いは、今でも私にとって励みであり支えでもあります。いつかは私もそういった出会いの機会を与えられる教員になりたいと思い、この道で生きていくことを決意致しました。また、女性科学者を増やそうとする取り組みがなされつつも未だ女性比率の低いこの環境で、私だから出来ること、そして研究者としても教員としても経験が浅い私が役に立てることは何だろうか、自分の使命を模索するようになりました。

今はまだ多くの先生や周りの方からお力添えを頂く未熟な私ですが、多くを吸収し、今の自分にできることに精一杯取り組みます。社会に対する自分の使命を果たせるように励んで参ります。どうか今後とも宜しくお願い申し上げます。

見えないものを感じる力

みなさまこんにちは。2012年9月に助教として着任して半年が経ちました。本学に着任する前は、大阪大学大学院国際公共政策研究科で助教に就いていました。前職では、研究科のネットワーク・サーバ管理に携わっていました。現在は情報工学科・ネットワーク系の松尾・津呂研究室に所属しています。ここで助教として研究・教育を行いながら、前職の経験を生かし、情報基盤センターのスタッフとして本学の情報基盤を支えるお手伝いをしています。

みなさまは、名古屋工業大学にどのような“色”を感じますでしょうか。私は表現力が豊かではありませんが、本学をたとえると、春に花を咲かせている一本の桜の木のような感じます。前職は総合大学であり、異分野の学生が多く集うところでした。たとえるなら多彩な花が咲いたチューリップ畑でしょうか。対して本学は、理系の大学という太い幹を持ちつつ、さまざまな分野に枝分かれした教職員や学生のみなさまのご活躍によって成り立っています。このように、それぞれの学校や組織が異なる“色”を持つ中で、みなさまは名古屋工業大学にどのような“色”を感じますでしょうか。

みなさまはどのくらい見えないものを感じることが出来ますでしょうか。超能力が使えますかとおたずねしているわけではありません(笑)。日本で生活していると、「察し」「思いやり」「空気を読む」といった、見えないものを感じる力(日本的コミュニケーション力)が大切だと感じる場合があります。しかし私は、ここ数年、ほぼ毎日論理的な思考と会話を繰り返してきたせいか、情緒的に話される方と話がうまくかみ合わない場合があります(笑)。当然、情緒的な文章も書けません。このままではいけないと思い、一念発起して見えないものを感じる力、情緒的な表現力を養おうとしていますが、その成果が上の“桜の木”です。お察しください...

これからも、見えないものを感じる力を養ってまいります。今後ともどうぞよろしく願い申し上げます。

平成 24 年度事業報告

1. 会合
 - 電影会総会 H.24.5.25 名工大 23 号館
 - 第 1 回役員会 H.24.11.15 名工大大学会館
 - 学内幹事会 H.24.12.5 名工大大学会館
 - 第 2 回役員会 H.25.2.13 名工大大学会館
 - 幹事会 H.25.3.25 名古屋工業会館
2. 事業
 - 学生向け講演会
 - (1) H.24.5.18
大同大学教授 田中秀和 氏 (Es48)
「技術士制度と JABEE」
 - (2) H.24.5.25
親和実業(株) 橋本英樹 氏
「技術史から学ぶ工学理論」
 - (3) H.24.11.9(一般公開)
アイシン精機株式会社 専務役員 加藤喜昭 氏 (E52)
「ひとを中心としたものづくり」
 - (4) H.24.12.14(一般公開)
日本電気航空宇宙システム株式会社 小笠原雅弘 氏
「「はやぶさ」を継ぐもの -新たな太陽系大航海時代に向かって-」
 - (5) H.24.12.21
元 NHK、元パイオニア専務 山田宰 氏
「技術者の生き方 ～社会人として重要なこと～」
 - 新入生向け電影会案内 H25.4.5
 - 卒業祝賀会 H25.3.23
 - 電影会会誌発行(第 19 号)H.24.4
 - 大学行事補助 7 件
 - 卒業生と学生との懇談会 H.25.1.25

平成 24 年度決算

科目	収入	科目	支出
繰越金	4,007,059	通信費	628,307
入会金	1,655,000	印刷費	611,885
工業会より	70,000	事務費	395
利息	325	会合費	214,295
雑収入	28,500	学生行事費	628,007
寄付金	1,289,801	大学行事費	40,000
		総会補助	67,300
		支部活動費	150,000
		インターネット経費	72,430
		雑費	210
		人件費	300,000
		繰越金	4,337,856
合計	7,050,685	合計	7,050,685

平成 25 年度事業計画 (案)

1. 会合
 - 電影会総会 ○役員会
 - 幹事会 ○学内幹事会
2. 事業
 - 新入生向け電影会案内 ○学生向け講演会
 - 電影会会誌発行 ○卒業祝賀会
 - 電影会ホームページの充実 ○電影会賞
 - 大学行事への補助
 - 卒業生と学生との懇談会

平成 25 年度予算 (案)

科目	収入	科目	支出
繰越金	4,337,856	通信費	650,000
入会金	1,600,000	印刷費	650,000
工業会より	70,000	事務費	20,000
利息	200	会合費	250,000
雑収入	28,500	学生行事費	650,000
寄付金	1,000,000	大学行事費	100,000
		総会補助	100,000
		支部活動費	150,000
		インターネット経費	75,000
		雑費	10,000
		人件費	300,000
		繰越金	4,081,556
合計	7,036,556	合計	7,036,556

平成 25 年度役員(案)

- 名誉会長 井上丈太郎(E13)
犬飼英吉(E28)
神谷昌宏(E36)
中村光一(E41)
- 会長 北村正(Es48)
- 副会長 木下清彦(E36) 土居秀行(E37)
川村信之(E53) 内匠逸(Es57)
- 理事 岩塚真之(E56) 山中清(J52)
菊間信良(Es57) 三宅正人(E60)
- 監事 市原正樹(E48)
- 庶務理事 廣瀬光利(E50) 岩崎誠(E61)
- 会計理事 酒井公孝(J54) 布目敏郎(EJh10)
- 編集理事 岸直希(EJh12) 松井俊浩(EJh7)
- 庶務補佐 小坂卓(EJh6)
- 会計補佐 酒向慎司(Ih11)

学位取得者一覧

機能工学専攻

平成 25 年 3 月課程修了者（授与日：平成 25 年 3 月 23 日）

氏名	論文題目	主査教員名
AO DENGBAOLEER	Photochemical Deposition of SnO ₂ Thin Films for Hydrogen Sensor Applications	市村 正也
JESUDASS JOSEPH FREEDSMAN	Investigation of MIS-type GaN-based HEMT grown by MOCVD on silicon (111) substrate	江川 孝志

情報工学専攻

平成 24 年 9 月課程修了者（授与日：平成 24 年 9 月 5 日）

SULAIMAN ERWAN BIN	Design Studies on Less Rare-Earth and High Power Density Flux Switching Motors with Hybrid Excitation/Wound Field Excitation for HEV Drives	小坂 卓
-----------------------	---	------

平成 25 年 3 月課程修了者（授与日：平成 25 年 3 月 23 日）

佐野 博之	Web インテリジェンスに基づくユーザの知的活動支援に関する研究	新谷 虎松
澤田 好秀	統計臓器モデルの医用画像に対する頑健で正確な位置合わせ	本谷 秀堅
SWEZEY ROBIN MARCEL EDWIN	A Study on Regional Contents Classification using Dataset Structure Refinement for an Intelligent e-Participation Platform	新谷 虎松
SHI JINGJING	Ultra-wideband Impulse Radio System for Medical Implant Communications	王 建青
平田 紀史	時系列文書からの探索的イベントマイニングに関する研究	新谷 虎松
YU QIAN	A Study on Automatic Generation for Chest-Radiography Temporal Subtraction Images	中村 剛士
LI CONG	Study on Multiuser MIMO Downlink Communication Schemes	岩波 保則
PABLO MARTINEZ LERIN	A Study on a Travel Plan Recovery System	高橋 直久
古賀 健一	車載無線システムに対するアダプティブアンテナ技術の適用に関する研究	菊間 信良

創成シミュレーション工学専攻

平成 25 年 3 月課程修了者（授与日：平成 25 年 3 月 23 日）

HUANG PINGG UO	力覚及び嗅覚を利用した分散仮想環境におけるサービス品質制御とユーザ体感品質評価に関する研究	石橋 豊
立松 綾乃	視覚・力覚・聴覚メディア伝送におけるユーザ体感品質評価に関する研究	石橋 豊

入試・就職状況

昨年度の入試状況と就職状況は以下の通りです。

平成 25 年度入学者選抜状況

電気電子工学科（一部）

	推薦	前期日程	後期日程
募集人員	10	84	45
志願者数	27	161	333
受験者数	27	153	156
合格者数	11	89	53

情報工学科（一部）

	推薦	前期日程	後期日程
募集人員	20	94	50
志願者数	47	287	283
受験者数	47	265	138
合格者数	20	98	60

第一部私費外国人留学生特別選抜

	電気電子工学科	情報工学科
募集人員	若干名	若干名
志願者数	18	21

受験者数	16	21
合格者数	5	7

編入学・転入学（3年）

	電気電子 （一部）	情報 （一部）
募集人員	若干名	若干名
志願者数	47	18
受験者数	45	16
合格者数	7	6

電気情報工学科（二部：一般選抜前期日程）

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
5	27	26	6

大学院・情報工学専攻（博士前期課程）

	推薦	一般選抜	私費留学生
募集人員	42	78	若干名
志願者数	37	158	13
受験者数	37	156	12
合格者数	37	101	7

大学院・情報工学専攻(博士後期1次選抜)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
5	6	6	6

※機能工学専攻・創成シミュレーション工学専攻・未来材料創成工学専攻・産業戦略工学専攻の選抜状況は省略

平成24年度卒業生就職状況

	電気電子工学科			情報工学科		
	大学院	一部	二部	大学院※	一部	二部
卒業生	108	141	7	90	151	4
進学者	2	109	3	4	116	0

研究生	0	1	0	0	3	0
一般企業	103	29	3	83	25	1
公務員	1	0	0	0	2	1
教員	0	0	0	0	0	1
帰国(留学生)	1	1	0	1	0	0
休学他	2	11	5	6	0	1
未定者	1	1	1	2	5	1

※機能工学専攻・創成シミュレーション工学専攻・未来材料創成工学専攻・産業戦略工学専攻を含む

電影会賞

平成24年度に電影会賞を創設しました。この賞は、電影会準会員の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、卓越した成績で卒業し、今後の科学技術の発展に貢献すると思われる有望な学生を表彰することを目的としています。平成24年度の受賞者は以下の方です。

氏名, 所属
光家 隆司, 第一部電気電子工学科
伊藤 孝弘, 第一部電気電子工学科
服部 憲和, 第一部電気電子工学科
原 俊介, 第一部電気電子工学科
早川 裕之, 第一部電気電子工学科
間瀬 駿, 第一部電気電子工学科
西田 誠二, 第一部電気電子工学科
川口 裕敬, 第二部電気情報工学科

氏名, 所属
山崎 一樹, 第一部情報工学科
井手上 慶, 第一部情報工学科
武田 卓也, 第一部情報工学科
加藤 雄大, 第一部情報工学科
片山 真也, 第一部情報工学科
鈴木 大輝, 第一部情報工学科
井上 良太, 第一部情報工学科
三宮 大弥, 第一部情報工学科

学生の学会表彰

紙面の都合上、受賞内容の詳細は省略させていただきます。

賞の名称(受賞日), 氏名, 所属, 指導教員氏名
平成24年度名古屋工業大学学生表彰受賞者(学術活動部門)副学長表彰受賞者(2013.3), 李聡, 情報工学専攻, 岩波保則教授
IEEE Vehicular Technology Conference(VTC) - spring 2012 Yokohama, Young Researcher's Encouragement Award (2012.05), 李聡, 情報工学専攻, 岩波保則教授
先進的計算基盤システムシンポジウム SACSIS2012 優秀若手研究賞(2012.05), 江藤正通, 創成シミュレーション工学専攻, 津邑公曉准教授
The 3rd Int'l Conf. on Networking and Computing (ICNC'12) Best Paper Award(2012.12), 神村和敬, 創成シミュレーション工学専攻, 津邑公曉准教授
情報処理学会東海支部 学生論文奨励賞(2012.5), 伴拓也, 情報工学専攻, 白石善明准教授
情報処理学会推奨卒業論文認定(2012.5), 義則隆之, 情報工学専攻, 白石善明准教授
DICOMO2012 優秀プレゼンテーション賞(2012.7), 松川智己, 創成シミュレーション専攻, 岩田彰教授・白石善明准教授
MWS Cup 2012 芸術部門優勝(2012.10), 義則隆之(情報工学専攻)・佐藤両(情報工学専攻)・松井拓也(情報工学科)・伴拓也(情報工学専攻)・宮崎仁志(情報工学科)・岡崎亮介(情報工学専攻)・篠田昭人(情報工学専攻)・YOON SEUNG YONG(情報工学科), 白石善明准教授
第10回情報学ワークショップ優秀賞(2012.12), 山本泰資, 情報工学専攻, 白石善明准教授
第10回情報学ワークショップ奨励賞(2012.12), 奥村香保里, 情報工学科, 白石善明准教授
情報処理学会第75回全国大会学生奨励賞(2012.3), 松川智己, 創成シミュレーション専攻, 岩田彰教授・白石善明准教授
情報処理学会第75回全国大会学生奨励賞(2012.3), 松井拓也, 情報工学科, 白石善明准教授
情報処理学会第75回全国大会学生奨励賞(2012.3), 山本泰資, 情報工学専攻, 白石善明准教授
電気関係学会東海支部平成24年度連合大会奨励賞(2013.1), 田中皓久, 情報工学専攻, 岡本英二准教授
電子情報通信学会衛星通信研究会第2回衛星通信研究賞(2012.8), 京拓磨, 情報工学専攻, 岡本英二准教授
電子情報通信学会東海支部平成23年度学生研究奨励賞(2012.6), 福田 一隆, 情報工学専攻, 岡本英二准教授
情報処理学会東海支部学生論文奨励賞(2012), 廣瀬勇也, 情報工学専攻, 加藤昇平准教授

日本感性工学会日本感性工学会論文賞(2012), 増田恵, 情報工学専攻, 加藤昇平准教授
IEEE Computer Society Japan Chapter JAWS Young Researcher Award(2012.10), 須藤勇一郎, 情報工学専攻, 加藤昇平准教授
合同エージェントワークショップ JAWS2012 学生論文奨励賞(2012.10)岩井亮, 情報工学専攻, 加藤昇平准教授
人工知能学会全国大会優秀賞(2012.9), 佐久間拓人, 情報工学専攻, 加藤昇平准教授
電気関係学会東海支部連合大会連合大会奨励賞(2013.1), 芳賀光瑠, 情報工学専攻, 加藤昇平准教授
電気関係学会東海支部連合大会奨励賞(2013.1), 東拓実, 産業戦略工学専攻(情報工学科卒), 梅崎太造教授
名古屋工業大学学生表彰学術活動部門名古屋工業大学副学長賞(2013.3), 加藤嗣, 情報工学専攻, 梅崎太造教授
電気関係学会東海支部連合大会 IEEE 名古屋支部学生奨励賞(2013.1), 浅山遼太, 情報工学専攻, 王建青教授
IEEE 名古屋支部国際会議発表助成(2013.2), 山口賢祐, 創成シミュレーション工学専攻, 鶴飼裕之教授・森田良文教授
電気関係学会東海支部連合大会奨励賞(2013.1), 加藤健太, 情報工学専攻, 森田良文教授
名古屋工業大学コミュニティ創成教育研究センター主催コミュニティ工学アワード 2012 B 部門 奨励賞(2013.2), 山崎一徳, 情報工学専攻, 森田良文教授
名古屋工業会賞(2013.3), 中嶋伸吾, 電気電子工学科, 森田良文教授
電気学会東海支部長賞(2013.3), 芦田圭史, 電気電子工学科, 森田良文教授
計測自動制御学会中部支部支部賞学業優秀賞(2013.3), 中村英士, 電気電子工学科, 森田良文教授
電気学会産業応用部門大会優秀論文発表賞A(2013.8 (表彰式)), 森田卓磨, 情報工学専攻, 竹下隆晴教授
電気学会半導体電力変換技術研究会優秀論文発表賞A(2013.6 (表彰式)), 小野江祐希, 情報工学専攻, 竹下隆晴教授
International Conference on Renewable Energy Research and Applications (ICRERA) Student Excellent Presentation Award(2012.11), 古橋雄介, 情報工学専攻, 竹下隆晴教授
副学長表彰(学術活動部門)(2013.3), 黄平国, 創成シミュレーション工学専攻, 石橋豊教授
副学長表彰(学術活動部門)(2013.3), 松尾琢也, 創成シミュレーション工学専攻, 石橋豊教授
映像メディア処理シンポジウム(IMPS)2012 優秀論文賞(2012.12), 松尾琢也, 創成シミュレーション工学専攻, 石橋豊教授
電子情報通信学会東海支部学生研究奨励賞(2012.6), 松尾琢也, 創成シミュレーション工学専攻, 石橋豊教授
電子情報通信学会 2011 年度音声研究会研究奨励賞(2012.6), 塩田さやか, ポスドク(創成シミュレーション工学専攻卒), 徳田恵一教授
日本音響学会第 6 回学生優秀発表賞(2013.3), 真野翔平, 創成シミュレーション工学専攻, 南角吉彦准教授
The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers (IEICE) Thailand-Japan Micro Wave 2012 Young Researcher Best Presentation Award(2012.8), 西脇洋渡, 情報工学専攻, 榊原久二男教授
2012 年(第 30 回)電気設備学会全国大会発表奨励賞(2012.11), 本多司, 情報工学専攻, 青木睦准教授
2012 年(第 30 回)電気設備学会全国大会発表奨励賞(2012.11), 大山慎太郎, 情報工学専攻, 青木睦准教授
電気関係学会東海支部連合大会電気学会優秀論文発表賞 B 賞(2013.1), 関崎真也, 創成シミュレーション工学専攻, 鶴飼裕之教授
平成24年度名古屋工業大学学生表彰受賞者(学術活動部門)学長表彰受賞者(2013.3), Robin M. E. Swezey, 情報工学専攻, 新谷虎松教授
平成24年度名古屋工業大学学生表彰受賞者(学術活動部門)副学長表彰受賞者(2013.3), 佐野博之, 情報工学専攻, 新谷虎松教授
平成24年度名古屋工業大学学生表彰受賞者(学術活動部門)副学長表彰受賞者(2013.3), 平田紀史, 情報工学専攻, 新谷虎松教授
電気関係学会東海支部連合大会電気学会論文発表賞(2013.1), 小林寛司, 情報工学専攻, 岩崎誠教授
情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会最優秀学生発表賞(2012.8), 稲葉和希, 情報工学専攻, 齋藤彰一准教授
情報処理学会システムソフトウェアとオペレーティングシステム研究会最優秀学生発表賞(2012.12), 安井裕亮, 情報工学専攻, 齋藤彰一准教授
電気学会全国大会優秀論文発表賞(2013.3), 牧野宏明, 情報工学専攻, 小坂卓准教授
画像の認識理解シンポジウム(MIRU2012)MIRUフロンティア賞(2012.8), 各務友美, 情報工学専攻, 佐藤淳教授
平成 24 年度日本音響学会東海支部優秀発表賞(2012.12), 山本龍一, 情報工学専攻, 北村正教授
平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会奨励賞(2013.1), 長田若奈, 情報工学科, 北村正教授
第 5 回データ工学と情報マネジメントに関するフォーラム学生プレゼンテーション賞(2013.3), 能見博也, 情報工学専攻, 高橋直久教授
教育システム情報学会学生研究発表会優秀賞(2013.3), 飯田真也, 情報工学科, 高橋直久教授
電子情報通信学会 データ工学研究会(DE) 情報処理学会第 156 回 データベースシステム研究会(DBS) 学生奨励賞

(2012.12), 加藤史也, 情報工学専攻, 高橋直久教授

副学長表彰(学術活動部門)(2013.3), PABLO MARTINEZ LERIN, 情報工学専攻, 高橋直久教授

電影会運営資金寄付者

以下の方々より寄付をいただきました。ご高配に厚く御礼申し上げます。なお、学科の略語の記載を省略し、卒業年のみ記載させて頂きましたので予めご了承ください。

- | | | | | | | | | | | | |
|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|-------|------|------|
| 昭 13 | 大原栄 | 水野重雄 | 吉村洋典 | 青木猛 | 宇佐美忠男 | 櫃本紘一 | | | | | |
| 昭 14 | 菊地秀樹 | 多田良之 | 蛭川達雄 | 昭 43 | 加藤尚志 | 沢野勝 | 重見 健一 | 鈴木清明 | 高橋俊之 | | |
| 昭 16 | 阿部勝美 | 荒川鉄一 | 窪田文雄 | 辻良男 | 山田久 | 萩本範文 | 百瀬次生 | 牧野正俊 | | | |
| | 横井實 | | | 昭 44 | 木原清 | 柴田俊夫 | | | | | |
| 昭 17 | 伊藤信雄 | 猪島克己 | 宮田清 | 山本富男 | 昭 45 | 石割三千雄 | 井上清和 | 加藤友康 | 須藤彰夫 | 野口義廣 | |
| 昭 18 | 小川澄三 | 久保利道 | 祖父江春秋 | 永島達雄 | 昭 46 | 沖靖彦 | 田坂修二 | | | | |
| | 中村正 | 本多直人 | 本間吉夫 | 昭 47 | 加藤元三郎 | 川越英二 | 田島耕一 | 原尾則行 | 山内一昭 | 多賀茂 | |
| 昭 19 | 鈴木惠雄 | 丹羽允 | | 昭 48 | 市原正樹 | 蓮田史則 | 菊池芳男 | 北村正 | 山下典雄 | | |
| 昭 20 | 伊藤博英 | 春日井博謙 | 高橋祐三 | 竹内崇男 | 昭 49 | 桑原成光 | 水野正路 | 渡辺進 | 須藤敏雄 | | |
| 昭 21 | 伊藤光芳 | 大塚寿人 | 柘植基次 | 松井康太郎 | 昭 50 | 外岡洋文 | 廣瀬光利 | 眞鍋和人 | 三宅辰博 | 浜岡重男 | |
| | 松井康太郎 | | | 昭 51 | 岩波保則 | 中村正明 | 山田秀夫 | 吉村元 | | | |
| 昭 22 | 安藤政之 | 市川儀男 | 伊藤季彦 | 内野哲夫 | 大友博幸 | 昭 52 | 内海和彦 | 有本英樹 | 藤川智 | 久保田徹 | 宮脇誠 |
| | 玉田博二 | 中村正雪 | 西川清司 | 三木忠夫 | 村上庄之助 | | 森壽保 | 山中清 | | | |
| | 吉田三雄 | | | | | 昭 54 | 酒井公孝 | 片桐彰夫 | 杉浦伸明 | 原 信 | 吉田誠治 |
| 昭 23 | 岡本兼喜 | 加藤文男 | 高橋保 | 竹内節 | 田中三男 | | 白井武 | 大江準三 | | | |
| | 中井二夫 | 畠中正廣 | 堀彦兵 | 牧野和正 | 水谷末一 | 昭 55 | 岩井豊 | 岩崎政彦 | | | |
| | 村川邦夫 | 分部力 | 渡邊嘉津夫 | | | 昭 56 | 石橋豊 | 萩原秀和 | 社本純和 | 山口初一 | |
| 昭 24 | 守友孝夫 | 川添登美夫 | 志津野嘉秋 | 田坂弘次郎 | | 昭 57 | 横山清子 | 安藤幹人 | 曾我哲夫 | 高橋清 | 内匠逸 |
| | 渡辺孝宏 | | | | | | 竹下隆晴 | | | | |
| 昭 25 | 青山春彦 | 安良城勝也 | 泉館昭則 | 萩野孝 | 加藤裕 | 昭 58 | 浅井英利 | 星野昭広 | 寿栄松憲宏 | | |
| | 後藤正 | 白井光雄 | 林文雄 | 間瀬卓夫 | 森本浩 | 昭 59 | 酒井泰誠 | 神田浩臣 | | | |
| 昭 26 | 伊藤健男 | 岡村実夫 | 沖辻寛 | 奥村士郎 | 加藤正昭 | 昭 60 | 新川武 | 平野智 | | | |
| | 兼子共明 | 加納愛信 | 小林繁利 | 阪口貢 | 松原英二 | 昭 61 | 熊崎昭 | | | | |
| | 吉野毅 | | | | | 昭 62 | 犬塚信博 | 神谷新吾 | 羽賀政雄 | 森田良文 | 安井晋示 |
| 昭 28 | 金森利行 | 社本一郎 | 杉岡太郎 | 西澤明 | 日比野正憲 | | 小栗宏次 | | | | |
| | 山田哲雄 | 山田速水 | | | | 昭 63 | 後藤篤 | 市野高行 | 鎌田和弘 | | |
| 昭 29 | 伊藤英輔 | 岡村正孝 | 國島尤 | 酒井兼夫 | 志賀拡 | 平元 | 林宏明 | 八木健 | | | |
| | 都筑登 | 藤垣節男 | | | | 平 3 | 榊原久二男 | | | | |
| 昭 30 | 井口晃也 | 内田忠良 | 加藤規 | 北野祐一 | 小林任 | 平 4 | 山内実 | 青木睦 | 野村尚史 | 松井俊浩 | |
| | 武田節子 | 中西洋二 | | | | 平 6 | 伊藤宏隆 | | | | |
| 昭 31 | 梅村英三 | 大嶋光朗 | 小澤昌夫 | 辻村尚明 | 中曾透 | 平 7 | 大園忠親 | 水谷幹伸 | | | |
| | 山田正敏 | | | | | 平 8 | 山田高裕 | | | | |
| 昭 32 | 新剛実 | 今村哲 | 植田俊男 | 岡野修 | 水谷安郎 | 平 10 | 小島達也 | 千國祥嗣 | 布目敏郎 | | |
| | 三輪純一郎 | 森千鶴夫 | | | | 平 11 | 酒向慎司 | | | | |
| 昭 33 | 荒井英二 | 石川二朗 | 伊藤正秋 | 木村欽哉 | 寺社下政美 | 平 12 | 藏富徳彦 | | | | |
| | 高橋等 | 寺林康治 | 中谷恭朗 | 畑雅恭 | 兵藤隆 | 平 14 | 江本喜久男 | 神谷真吾 | 桂川昇治 | 村瀬真吾 | |
| | 藤田正浩 | 前島一雄 | | | | 平 15 | 河原淳平 | | | | |
| 昭 34 | 芦崎重也 | 伊藤智彦 | 草野洋 | 沢田正弘 | 俵康雄 | 平 20 | 波多野学 | 川合宏海 | 渡辺浩平 | | |
| | 藤井寿崇 | 森島茂樹 | 山田篤三 | 行本貞夫 | | 平 21 | 堀田賢司朗 | 長谷川拓矢 | 鬼頭稔 | | |
| 昭 35 | 梅野正義 | 大谷健嗣 | 岡田至 | 金子勝蔵 | 後藤秋生 | 平 22 | 浅田徳弘 | | | | |
| | 藪田耕一 | 中西和義 | 野口弘之 | 広瀬久城 | | 平 23 | 田中賢治 | | | | |
| 昭 36 | 臼田貞雄 | 大野隆一 | 小田征一郎 | 定本建二 | 堤格士 | 平 24 | 鷹見怜 | | | | |
| | 藤原康宏 | 細野猪三雄 | 馬路才智 | 増田勝一 | 屋内史郎 | 平 25 | 浅山遼太 | 鴨下哲 | 鍵本圭吾 | 丹羽一輝 | |
| 昭 37 | 伊藤信大 | 岩田浩一 | 加藤祥三 | 川口裕康 | 川原明彦 | | 卒業祝賀会参加者 | | | | |
| | 久保村徳太郎 | 桑原肇 | 阪口光人 | 新宮道生 | 田中一義 | 特別会員 | 佐藤淳 | | | | |
| | 土居秀行 | 戸倉康文 | 戸田正義 | 野田昭 | 林貞夫 | | | | | | |
| | 早原悦朗 | 半田徹 | 堀崎浩一 | 牧田勝美 | 水谷欽弥 | | | | | | |
| 昭 38 | 是木修一 | 中谷光男 | | | | | | | | | |
| 昭 39 | 浅野勝弘 | 岡田守弘 | 笠井大二郎 | 下前哲夫 | 高井律男 | | | | | | |
| | 武富喜八郎 | 田村英也 | 矢田公一 | 山本俊伸 | 吉田嶽彦 | | | | | | |
| 昭 40 | 上羽貞行 | 山本健美 | | | | | | | | | |
| 昭 41 | 石井光雄 | 石丸隆英 | 宇野啓一 | 大島俊蔵 | 梶田省吾 | | | | | | |
| | 神本勝巳 | 前越久 | 田中邦道 | 山口博司 | | | | | | | |
| 昭 42 | 伊藤洋太郎 | 小島一男 | 佐野周造 | 橘昭成 | 中山静夫 | | | | | | |

学 科 近 況

◎ 学科役職(新年度の電影会関連教職員のみ)

平成 25 年度電気電子工学教育類

教育類長 水野 幸男教授
副教育類長 市村 正也教授
榊原 久仁男教授

平成 25 年度情報工学教育類

教育類長 佐藤 淳教授
副教育類長 新谷 虎松教授
石橋 豊教授

平成 25 年度情報工学専攻

専攻長 和田山 正教授
副専攻長 北村 正教授
片山 喜章教授

平成 25 年度就職担当

電気電子工学教育類 菊間 信良教授
情報工学教育類 内匠 逸教授
中村剛士准教授

◎ 平成 24 年度退職教職員

電気電子工学教育類 林 靖彦准教授 (転出)
川福 基裕准教授 (転出)
情報工学教育類 菅原 真司准教授 (転出)

◎ 平成 24 年度新任教職員

電気電子工学教育類 三好 実人教授
宮川 鈴衣奈助教
情報工学教育類 梶岡 慎輔助教

総 会 通 知

平成 25 年度電影会総会並びに懇親会のお知らせ

日時:平成 25 年 5 月 24 日(金)

17 時 00 分~20 時 30 分

会場:<総会・講演会>名古屋工業大学

23 号館 1 階 2312 教室(旧共 2 教室)

<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

<懇親会>大学会館1階 生協大食堂

会次第:16 時 30 分 総会受付開始

17 時 00 分 総会

17 時 30 分 講演会

演題:「昨今の生体信号処理技術とその
応用について」

講師: 小栗 宏次 氏

愛知県立大学 産学連携推進室長

18 時 30 分 懇親会(大学会館大食堂)

懇親会会費:5,000 円(一般)

2,000 円(学生)

(当日会場受付で頂きます)

なお、昭和 38 年 3 月の御卒業で総会に御出席の各位には、ご卒業満 50 年をお祝いいたしましてご招待させていただきます(会費無料)とともに、ささやかではありますが、記念の品をお贈りいたします。平成 24 年の総会では、ご卒業満 50 年の皆様一同から記念のご寄付をいただいております、よい伝統になればと

願っております。また、名古屋工業大学にもご寄付をいただきました。

今年も学科長、就職担当教授をはじめ多数の教員、博士後期課程(ドクターコース)の留学生を含む在学生も出席予定です。皆様お誘い合わせの上のご出席をお待ち致しております。

お知らせ

名古屋工業会第 47 回会員総会が、5 月 25 日(土)に開催されます。皆様奮ってご参加のほどよろしくお願いたします。

詳細につきましては、名古屋工業会のホームページ(<http://www.nagoya-kogyokai.jp/>)をご覧ください。

電影会寄付募集のお願い

現在、電影会は名工大へ入学時に皆様からお納めいただいた会費、並びに卒業された皆様からの寄付金によって運営されています。

でんえい会誌の発行やホームページによるサービスを始め、電影会の運営をスムーズに行うため、今後とも皆様からの寄付をお願いいたしたく存じます。よろしくお願申し上げます。

尚、寄付をいただいた方は、次号にお名前を掲載させていただきます。

一口 : 2000 円

郵便振込先:00860-9-19618 電影会

名古屋工業大学基金寄付募集のお願い

現在、名古屋工業大学は皆様からの寄附を募集しております。詳しくはウェブサイト(<http://www.nitech.ac.jp/kikin/>)をご覧ください。

投稿記事の募集

でんえい会誌の記事を募集いたしますので、会員の皆様からの積極的なご投稿を電影会までお願いいたします。1 ページ約 1600 字です。

編集委員 内匠 逸(Es57) 岸 直希(EJh12)
岩崎 誠(E61) 松井 俊浩(EJh7)
布目 俊郎(EJh10)

発行 名古屋工業大学内電影会

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

Tel: (052) 735-5459 (ながれ領域事務室)

Tel: (052) 735-5455 (事務:岩崎庶務理事)

Fax: (052) 735-5455 (事務:岩崎庶務理事)

E-mail: office@denei.jp

URL: <http://www.denei.jp/>